

令和7年度 第2回聖籠町子ども・子育て会議 議事要旨

会議の名称	令和7年度 第2回聖籠町子ども・子育て会議
開催日時	令和7年10月6日（月） 15:00～16:30
開催場所	聖籠町役場 第2会議室
出席者	丸田会長、藤間副会長、丹後委員、高橋委員、三國委員、 田村委員、大橋委員
欠席者	伊藤（健）委員、西村委員、本田委員、豊崎委員、 岩崎委員、伊藤（め）委員
事務局	大野課長補佐（子ども教育課）、阿部係長（子ども教育課）
【委託業者】 ジャパンインターナシ ヨナル総合研究所	志村、相澤
1 開会 2 議題 3 閉会	（1）ワークショップの実施結果について （2）こども・若者の生活や意識に関する調査の集計結果（速報値） について
資 料	・ワークショップの実施結果について ・こども・若者の生活や意識に関する調査の集計結果 ・委員名簿・席次表

発 言 者	要 旨
	1 開会
	2 議題 (1) ワークショップの実施結果について
事務局、委託業者	(資料1にもとづき説明)
会長	4名という比較的少ない人数でしたし、キャッチフレーズは複数の人たちから意見がありましたが、これを持って直ちにこの案の中からキャッチフレーズが決まるということではないですね。
事務局、委託業者	そのとおりです。
委員	<p>聖籠町が「住み続けたい町」ということで、先週の新聞でも「聖籠町が1番」という情報はありましたが、自然豊かな町ともう一つは「自然災害が特に少ない」という意見がありました。</p> <p>聖籠町は高い山もないし、危険だという印象も起きない。そういった点で、自然の災害が少ない街であることは、やはり少なからず住みやすさの点も手助けしているのではないかという印象を受けました。</p>
会長	今ほどご指摘のあった「災害の少ない」という点に、中学生・高校生の方が着目してくれたような意見があったかどうか、その辺はいかがでしょうか。
事務局、委託業者	<p>災害に関するところは、ご意見として4名の方からは特に上がってはいなかったのですが、住んでいる自分の周りの環境について、電気代のご意見を出された生徒様がいらっしゃいました。</p> <p>その方が今のガス・電気の費用など、自分の地域に住んでいる中で自分ではなく、家族のそういった悩みについて「こうしたらいんじゃないか」というのを考えていました。</p> <p>特に災害系について、キャッチフレーズに組み込むところは難しいですが、アンケート調査結果などのご意見を踏まえて検討は進めて参ります。</p>
会長	参加された方からそういった災害の意見は出ませんでした。キャッチフレーズの最終案を決めていく中で、今お話しいただいたご意見も取り入れながら検討する必要があると思いますので、よろしくお願いいたします
委員	ワークショップのキャッチフレーズ案を出してもらう時の「打ち出し」、こちらから「どういう目的でキャッチフレーズを作るのか」というのは、「そこにあ

	<p>る町が将来目指す姿を表す」という内容で良かったですね。</p> <p>ということは、「今できていないこと」でも、それから「今現在あるけれど将来も続けていって欲しいこと」ということも取り入れても良いという理解でいいですか。</p>
事務局、委託業者	<p>その通りです。まちの良いところも活かしつつ、「今できていないこと」については、今後「こういう風になってほしい」という、その両方の視点をキャッチフレーズに入れていくことを、ワークショップを通して伺った形になります。</p>
会長	<p>ワークショップの参加者の学年や性別の内訳はわかりますか。</p>
事務局	<p>いずれも中学生２年生で男性２名、女性２名でした。</p>
委員	<p>居住地区はわかりますか。</p>
事務局	<p>亀代学区２名、山倉学区１名、蓮野学区１名です。</p>
委員	<p>育った地域によって出てくる意見が異なってくるのかなと思いました。やはり亀代は海に近いと思いますし、蓮野・山倉は、例えば里親と生活しているなどの場合もあるので、他の参加者がいたら回答も変わってくるのではと思いました。</p>
委員	<p>災害対策に「街中防災」というものも始まりますし、中には遊び場ですね。オープンエリアの遊び場が設けられるという話がありますが、こういうものを進めていくことが一定のやり方としては良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>特に質問はないですが、中学生にしては随分しっかりしていると思いました。今その町に対する意見というか、思っていることが全部出ているなっていうのを見て、いろいろすごいなと思いました。</p>
委員	<p>「中学校をもっと涼しくして欲しい」という意見について書いてあるので、聞いてみようかなと思うのですが、これについては、「こういう風にやっています」などの取り組みについて教えていただけますか。</p>
事務局	<p>中学校のエアコン自体は故障しているわけではなく、正常に動いてはいますが、外の気温が熱すぎるなどの影響もあり、教室が暑い状況にはなっております。</p> <p>ただ、24時間エアコンをつけていたり、そのほか、何ができるかと考えた時に窓ガラスに遮熱フィルムというものを貼らせていただき、外から熱が少しでも入らないようにといったような対応をさせていただいております。</p>

	<p>エアコンの入れ替えにつきましては、すぐにできるものではありませんので、教育委員会の方で検討しているところでございます。</p>
会長	<p>この4名の方々の意見を町全体の計画の中でどう取り扱えばいいのか。このワークショップを進めて、4人が出席し、こういう意見があったというところまでは問題ないですが、そこから先どう取り扱えば良いか、ご意見があればお願いいたします。</p>
委員	<p>現在総合的な学習の時間にて、3年生でまさにこれを扱っていきまして、ゆくゆくはこういう街にという提言をまとめていくという学習活動をしています。そこと連携すれば良かったなと思いました。ちょうどまちの良さや課題を拾い出している段階だと思います。</p> <p>SDGsを切り口に考えていますので、グローバルな感じで展開していこうと思いますが、決着地点が見えないので、「学習活動を実施しています」ということしか申し上げられないです。</p>
会長	<p>素案をまとめていく時に4名の方々の意見をどういう風に取り入れていくのか事務局のお考えはありますか。</p>
事務局	<p>参加者が非常に少なかったので、このワークショップを補足する形で、例えば中学生に簡単なアンケートを別取るか、素案を分かりやすくまとめたことも向けのパブリックコメントの実施など検討しています。</p>
委員	<p>今お伝えした総合学習について、ちょうど同じ内容を進めているので、可能でしたら、そこでまとめたものが計画に載せることができたなら一番良いと思いましたが、先が見えないためお約束ができない状況です。</p>
会長	<p>今後は必要に応じてフィールドワークを実施すると思いますが、そういったことが可能だったら何か情報をいただき、計画に「総合学習でこういう意見がありました」みたいなものは、載せることはできるかと思います。</p> <p>こども向け・生徒向けのパブリックコメントについては、手法としては新しさがあると思います。</p> <p>こども計画も「こどもまんなか」なので、こども中心になって考えないといけない。こどもの意見が必要なので、こどもに分かりやすいパブリックコメントにしなければならないと思います。</p> <p>事務局から案が出てまいりましたので、その方向で進めていただく形でよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、次のこども・若者の生活や意識に関する調査の結果速報値が出ましたので、事務局からご説明をお願いいたします。</p>

	(2) こども・若者の生活や意識に関する調査の集計結果(速報値)について
委託業者	(資料2にもとづき説明)
委員	<p>1つ1つの回答に対し、「これに関してはこういう風になってる」「この施策についてはできません」「これはできるかな」などについて、その辺を考えて良いのかもしれないです。</p> <p>また、この結果について、「こんなこと考えてるんだな、こういう風に思ってるんだな」だけで終わってしまうかと思います。</p> <p>こうした結果を踏まえて、現行の施策について課題をまとめていくようなことなどはいかがでしょうか。</p>
委託業者	<p>子ども・子育て支援事業計画にこども計画という視点を入れて施策を打ち立てるにあたって、どのような施策を入れていくか、アンケート結果などを踏まえて検討し、計画に落とし込んでいくという形を考えております。</p> <p>また、こちらのアンケート結果については報告書といった形で作成を進めておりますので、改めてお示しいたします。</p>
会長	改めて委員の皆様には「調査の結果はこうでした」「こういう課題が見えてきました」といった今後の方向性についての案が出てくるのはいつ頃になりますでしょうか。
事務局	次の会議のタイミングで、その内容についてはお示したいと思います。
会長	私から1つ確認ですが、19ページについて今年度に16歳から18歳になる方にお伺いしますということで年齢が特定されていますが、ここはどういう設問の意図がありましたか。高校生の年代を聞きたいということでしょうか。
事務局	<p>高校生世代の回答を把握する意図で記載しております。</p> <p>19歳以上だと部活動などとは関係ない方がいらっしゃるので、年齢を分けています。</p>
委員	アンケート結果の年齢について、19歳から39歳を対象としていますが、これは完全にその住民が住んでいることを把握した上で配布をされていますか。
事務局	今年の6月時点の住民基本台帳に記載されている方に向けて配付をしています。
委員	速報値の中で、分析していただいております、例えば地域の包括的支援や相談体制が不足しているという現実が見えてきたり、潜在的な孤独を抱えている人が50%近くいて、これは結構な人数であり特に若者層は深刻な問題なんだろうな

と思いました。

そして、外に出る機会について地域の行事やサークル、社会教育など色々やっていますが情報不足なのか、魅力がないのか、時間がないのか、面倒くさいのか色々な理由があって、若年層の人が地域になかなか出てこない、そういった現実があると思いました。

地域側の自治体活動と同じで、若い世代の人たちは特に住んではいるが、全く協力しない状況です。

そのため、悩みも見え隠れするのでどうやったら情報が伝達できるのか、そしてその人たちが「参加しよう」という気持ちになるのかを考える必要があります。

地縁、血縁などが失われていく現代ですし、特に聖籠町は流入人口が多いです。

地場の人じゃない人達が多いから、そういった人をどうやってまちづくりに参画させていくのかの課題があります。

よほど魅力的なアプローチをしないと乗ってこないだろうなという風には思いました。

中学生・高校生は離れていく人達なので、一旦また戻ってくるかもしれませんが、戻ってくる魅力があるという町でなければ難しいと思います。

会長

確かに18歳まで医療費無料ですし、子育てしやすいまちだとは思いますが、それでもそういった人たちがずっと居続けるかということと子育てが終わると流出していく現実があります。そういった部分をまちとしてどう考えていくかが課題として見えるなと思いました。

今の辺りはデータを集約して調査から見えてくる結果からこども計画やまちづくりに向けた課題が何であるかというところについては是非明確にしていただければと思います。そのほうが委員の方々もさらに意見を発言しやすいと思いますので、よろしくお願いします。

委員

問14について、先ほど活動に参加するきっかけがないので、情報の提供が必要だという話があったと思うので、そういった部分は見直せたことは良い結果だったと思います。

また、若い人達がこれから町外に出る方が多いという話があったので、町外に出たいという方の中で、主な理由として次ページに意見が書いてあるので、その課題を解決できれば1回町を出た方もまた戻ってきてくれたりするのかなと思いました。

委員

先程のご意見からもあったように、やはり地域との繋がりが薄いというところがすごく気になります。

こどもを抱えている方が一定数いるというのは分かったので、社協の方などと連携して、孤立している人を救い上げていきたいなと思いました。

	<p>こどもにまちに帰ってきたいかと聞くと、帰ってきたい気持ちはあるけれども、やはり働くところがまずやっぱりないなどの話がありました。</p> <p>そのほか、高校生ぐらいの子に聞くと教育に関心がありますが、勉強する場が無いとのことでしたので、勉強できる場所などの何かスペースがもっとあるといいなと思いました。</p> <p>例えば、経済的になかなか塾に行けないなどのそういった人達も含めて、平等に通えるような形になればと思うところがあります。</p>
委員	子どもに遊ぶ場所が欲しいと言われます。
委員	遊び場は蓮野地区に建設するという話があります。
事務局	改修の予定があります。
会長	<p>この調査はあくまでも聖籠町のデータまでであって、県と比較をしたり、国と比較をするような項目というのは今のところは考えていないという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>大事なところは、例えば引きこもりの率は大変少ないので、県や国の引きこもりの状況と比較して低い割合ですみたいな内容が入るのか、入らないのかその辺お考えがあればお聞かせをください。</p>
事務局、委託業者	現時点で検討、作成を進めています。計画書の内容については、なるべく分かりやすい表現で掲載することを想定しておりますので、その点については検討させていただきたいと思います。
会長	<p>確かにあの高校・大学を出てみて、一度は首都圏なり関西に行っていただきたいけれども、やはり自分の人生考えた時に聖籠町に帰ってきたいと思う魅力が大事だと思います。</p> <p>その魅力を中学生・高校生のうちに気づく、行ってから気づくのも良いですが、やはり魅力を感じられるまちであると良いと思います。</p>
委員	出て行きたくて出ていくっていう人もいますけど、働き場がないし、高校がないなどでやむを得ないと思います。それで交通機関もなかなか無いので進学先がそれで狭くなっていると考えられます。
委員	<p>交通機関、交通の便が悪いというのは、こども層とお年寄り層は非常に深刻な問題だと思います。</p> <p>車で新潟まで通っている人は時間帯によっては30分くらいで着きます。ベッドタウンですから、別に不便は無いと思います。こどもとお年寄りはなかなか住み続けにくい現状があります。</p>

	<p>周辺の市町村とその対抗できるような組織的なものもあると思いますが、その実態に迫いつけるような組織ではないですね。聖籠町は人口があまり減らないが、人口のデータをみるとバランスがどうなのかなと思いました。</p> <p>例えば、年寄りが多いけども、その人口の中で高い割合を占めているのか、結婚してこっちに来てその傾向があるのか、そのバランスがどうなのかなと思います。</p>
会長	<p>総合計画の中では明確になっていますが、聖籠町だとデータをお持ちなので、委員の方々にもしその概要だけでもご紹介いただけるようであれば、委員からご指摘いただいたことが明確になると思うのでいかがでしょうか。</p> <p>この計画もあれですね。前半のところはそういった人口の出生数などが掲載される形ですね。</p>
事務局	<p>総合計画は見直し中ですので、連携を図っていきますが、この計画につきましても、前半はデータの掲載はあります。</p>
委員	<p>先ほど高橋さんの指摘した学問的なものを出せるデータであればよかったけれども、町としては限界もあるから、その辺りの町と市の違いが出てくるかなと思います。</p>
副会長	<p>3 閉会 (閉会のあいさつ)</p>
	以上